

“多くの人の身代金として”

マルコによる福音書QTシリーズ

ローラン・モンヘ、ジョン・ルイ 共著

As a Ransom for Many

Quiet Times and Reflections
from the Gospel of Mark

Contributing Authors
Rolan Monje & John Philip Louis

セッション11：しもべの警告

読む：マルコ13:1-37

聖句を探索する

- 弟子たちは建物の素晴らしさに感銘を受けましたが、イエスは物事のより長期的な視点を与えることによって彼らを現実に戻しました。最後には損なわれずに残るものは何也没有ありません。すべての石は捨てられます。神様への恐れと、人間のすべての成果はいつの日か捨てられ何も残らないという長期的な視点を持っていますか？唯一、重要なのは神様との関係だと気づいていますか？
- どのような短期的な成果が、あなたと神様との間に入り込むほどに重要ですか？
- 長期的な見方を念頭に置いて、13:1-31の会話の最後に、イエスは彼ら（ペトロ、ヤコブ、ヨハネ）に、13:32-37で次のようにすべきであると告げました：気をつけて（Be on your guard）、目を覚ましていなさい（Be alert, keep watch）。鶏が鳴く時、神様に眠っているのを見つけられてはなりません。目を覚ましていなさい。これらの言葉があなたに個人的に言われたら、どのように反応しましたか？次の14章を学ぶ時に、これらの点を念頭に置いてください。

聖句を掘り下げる

私（ローラン）は、かつてギリシャ語の中級クラスの教室にいた時のことを思い出します。私たちは福音書の聖句を暗唱しながら、翻訳していました。博識のドイツ人である教授が繰り返し言いました「イエスが話しているように読みなさい」。この言葉が（今でも）思い出され、イエスが当時どのように語っておられたのか思いを巡らさずにはいられません。

オリブ山で私たちの主がペトロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレと話しておられる光景を想像してみてください。話す声は淡々としていて、表情は真剣そのものです。「気をつけなさい・・・慌ててはいけない・・・まだ世の終わりではない・・・自分のことに気をつけていなさい。」

13章には多くの警告が含まれます。私たちの主はこれらの言葉を非常に熱心に語られたに違いありません。イエスは来るべき裁きについて最も重要かつ物議を醸し出すような教えを述べられました。ヘロデの神殿は崩壊するというイエスの預言はその当時どれほど信じ難いことに聞こえたでしょう。しかし、この預言は紀元70年に実現しました。ローマのティトゥス将軍とその軍隊はエルサレムを陥落し、神殿も破壊されたのです。

重要な注意点：マルコ13:24-27は「啓示的」な聖句ともいわれています。啓示的とは、奇妙なイメージを描く絵筆のような言葉を使った文学を指します（SF漫画を読んでいるよう

な感じですが)。旧約聖書の預言者たちは（イザヤ13:10、34：4参照）、啓示的な言葉を用い、ヨハネが黙示録で使っているのと良く似た、象徴的な形で彼らのメッセージを伝えています。

- エルサレム神殿は息をのむような素晴らしい建物であっただけでなく、旧約聖書にも新約聖書にも必要不可欠な聖書の教えの中心となっています。なぜイエスは警告を、神殿の将来についての議論から始められたのだと思いますか？
- 弟子たちの反応について考えてみてください（13:3-4）。彼らの質問を読んで何がわかりますか？彼らは、どのようなことが起これば世の終わりが来たのだと（13:5-8）誤解したのでしょうか？
- イエスは、クリスチャンが迫害されると言っています（2テモテ3:10-13のパウロ同様）。また、神様はそれを益とすることがおできになります。13:9-13のイエスの言葉は信仰者をどのように励ますことができるのでしょうか？
- 気をつけて目を覚ましていなさい（5、23、35、37）という警告について熟考する時、クリスチャンとしての生活の中で、どうすれば「目を覚ましている」ことができるのでしょうか？
- 具体的にいつイエスが再来するかを知っていると言う偽教師に、クリスチャンとして、どのように反応すべきでしょうか？
- 福音があらゆる民に「宣べ伝えられ」ねばならない（ESV訳“宣言される”）というイエスの確信を、どうすればあなた自身のものとすることができますか？

セッション12：しもべの裏切り

読む：マルコ14:1-72

聖句を探索する

- 受難と呼ばれる週は、14章から始まります。ユダは14:10-11にあるように、いくらかのお金でイエスを引き渡しました（他の福音書では、実際には40枚の銀だったと述べています）。どれだけのお金でイエスを引き渡しますか？
- これを、女性が喜んでイエスに油を注ぐために費やした金額（14:5）と比較してください— 1年分の賃金です。誰に対して、イエスはもっと重要な存在であるべきでしたか？ユダ、それとも女性ですか（この時までには、ほぼ3年間ユダはイエスと一緒にいました）？
- 14:9のイエスの言葉を考えてみましょう。イエスが心を動かされあなたを称賛するほどに、イエスのために何をしたいですか？
- 以前、イエスは次の言葉で弟子たちに警告しました。気をつけて、目を覚ましていなさい。鶏が鳴く時、神様に眠っているのを見つけられてはなりません。目を覚ましていなさい。14:27-42の聖句を見てください。イエスはほとんど同じ言葉を再び使いました— 鶏が鳴く、目を覚ます、眠る。彼らはテストに失敗しました。あなたも「目を覚ましている」テストに失敗しないように注意してください。
- ここには一般的な後退がありました。ペトロは、イエスを離れないことに自信を持っていた（14:19、29）ところから、イエスに遠くからついて行き（14:54）、最後にイエスを否定する（14:71-72）ようになりました。これらは、私たちが気をつけて、目を覚まし続けているいないならば、陥ってしまう段階です。あなたほどの段階にいますか？
- 不当な裁判でイエスは沈黙を守り、何も答えませんでした（14:61）。イエスは人々に神様と互いを愛するように教え、多くの奇跡を行い、ニーズを満たし、税金を払うように言い、貧しい人々と脆弱な人々を守りました。そして今、彼は裁判にかけられています。イエスはこのような不正に値しますか？彼の沈黙は何を伝えていますか？

聖句を掘り下げる

私たちは戸口に辿り着きました。マルコは、過越祭の週末の出来事の証人となるために意図的に私たちをここへ連れてきました。彼はこの3つの力強い章に関して詳しく述べています。

14章には、3つの重要な区分があります。1つ目は、1週間にわたる除酵祭の祝宴の直前にイエスを捕らえる企みが引き起こされたことです(14:1-2)。彼の裏切りと死が、イスラエルのエジプトからの解放の奇跡、特に初子の災いの時（出エジプト12）を記念する過越祭（ヘブライ語：pesach= 過ぎる・飛び越える）の間に起こったことは重要でした。

次に、イエスが重い皮膚病のシモンの家で静かな食事の時間を楽しんでいたベタニアで油を注がれた出来事です(14:3-9)。使われた香油(ESV/KJV訳“軟膏”)は王に注ぐのにふさわしいとても高価なものでした。そしてついに、ユダによる裏切り、イエスの拘束、最高法院の前での裁判を含む、主の晩餐を取り巻く出来事に移ります(14:10以下)。

- 石膏の壺が壊された14:3を見てください。それは、この容器に入っていたもの全てが使い切られたことを意味しています。このことは、この女性について何を言おうとしていますか？油を注がれた方について、何を伝えようとしていますか？
- ほとんどの学者は、このベタニアでの油注ぎをイエスの埋葬の象徴として考えています。この油を注いだ女性はどのように注目されているのでしょうか？
- ユダがイエスを裏切ったことは、単純に金銭への欲のためだったと考えられます(マタイ26:14-16)。イエスを信じる者にとって、この行いはどのような警告となるのでしょうか？この誘惑について述べている聖書の箇所を思い浮かべますか？
- マルコがユダのことを「12使徒の1人」として、しかし同時に、イエスを裏切る「可能性がある者」とも言っていることに注目してください。これは、イエスと行動を共にするだけでは十分ではないということを言っているのではないのでしょうか？「霊的な特権を持つ」者となる落とし穴は何でしょうか？
- イエスが宗教的リーダーたちの前で、ついにご自身がメシアだと認められたことがなぜ重要なのでしょうか(14:60-62)？マタイ16:16と、ダニエル7:13を見てください。なぜそれが「神への冒瀆」だと解釈されているのでしょうか？
- あなたは友人に見捨てられたことがありますか？ペトロの否定について熟考してみましよう。イエスのために立ち上がることができたのに、代わりにイエスを否定してしまった時のことを覚い出すことができますか？
- どのようにユダとペトロが、自らの欠点に対して対照的な反応をしたかを見てみましょう。あなたがしくじった時に、どうペトロのように悔い改めることができますか？